



「街の駅 だいもん」で

第6回蘇れ! 大門将棋大会を開催

8月26日(土)、津市大門大通り商店街振興組合(山田和弘理事長)は、「第6回蘇れ! 大門将棋大会」を開催しました。

かつて津市の商業の中心地であった大門商店街に往年の活気を取り戻そうと6年前に取り組み始めた活性化策の一つで、公益財団法人 日本将棋連盟 津友の会支部との共催により実施しています。

大人だけでなく、小学生の参加も多数あり、2勝した小学4年生の男の子は、「2年前から家族や友達を相手に将棋を始めました。大会に出るのは初めてなので緊張したけど、楽しかった。」と嬉しそうでした。

また、山田理事長は、「当初、『蘇れ!』という気持ちが強かったが、6回継続でき、参加者も多くなり、関係者からは『もう、“蘇れ!”という文字を削除しても良いのではないか』という声が出てきた。これからも続けて、大門への来場者がもっと増えてほしい。」と期待を寄せていました。

小規模事業者組織化指導事業・取引力強化推進事業は、中小企業・小規模事業者が連携して、共同事業の活性化や受注拡大等取引力強化促進を図るための取組みに対して助成しています。平成28年度実施事例からご紹介します。

『販促用のチラシ作成・配布、のぼり旗セットを作成』

事業概要 販促用チラシ3,000部、のぼり旗5種類×3本セットを作成した。

成果 組合員においては、チラシを組合員が分担して関係機関に配布し、朝市でのぼり旗セットの設置や利用を体験することにより、組合の事業場で働くという意識が再確認され、積極的に職務に従事する姿勢が見られた。企業組合への事業に従事する意欲が高まったため、

今後も積極的な事業活動の実施に貢献できると思われる。

組合においては、チラシを関係機関に配布することにより、組合と販売商品について一般消費者へPRす

ことができ、知名度の向上に貢献できた。また、のぼり旗セット5種類の作成では、朝市当日の来場者や周辺関係者、遠方からの観光客等への宣伝を積極的に行うことができた。

今後の取組みの方向 本事業で組合活動の宣伝と朝市の魅力的な実施に貢献することで、今後も取引力の強化に努めるため、新たな事業展開につなげていきたい。具体的には、“くざき鯨”の新たな販路開拓と新規事業の展開について検討し、来年度以降の実施を計画していく。



のぼり旗



チラシ